

コース名	IE手法を活用した生産性向上 —実践で学ぶIE！ムダ取り実践術の極意！—			
研修のねらい	IoTやAIといった技術革新が加速化する今日、生産現場の生産性向上は企業の競争力確保のための重要なテーマとなっています。様々な技術を活用できる現代だからこそ、現場で発生するムダの正確な把握、的確な分析、改善策の立案と推進の仕方を理解したリーダーの存在が求められています。 本研修では、生産現場のリーダーが理解しておきたいIE(Industrial Engineering)の実際の活用方法についてケース演習を交えて学びます。またインターバルを活用して、自社生産現場の測定・分析・改善策立案に取り組むことで、IE手法の実践の仕方を身につけます。			
研修の特長	<ul style="list-style-type: none"> ・IE手法の基礎から実践までをケース演習を交えて学びます。 ・インターバルを活用して自社現場の測定・分析に取り組みます。 ・受講者同士の相互アドバイスで各社の現場改善策を検討します。 <p>◆関連コースのご案内 No.38「実践で学ぶ5Sと目で見える管理」 2018年5月29日(火)～30日(水)、6月27日(水)～28日(木)〈全4日間〉 No.22「管理者のための問題発見・解決法」 2018年9月3日(月)～6日(木)〈4日間〉</p>			
注意事項	・インターバル期間中に「IE手法の実践(測定・分析)による自社の課題抽出」の宿題があります。			
研修期間	2018年10月30日(火)～12月6日(木)〈全4日間〉 (詳細) 第1期 2018年10月30日(火)～10月31日(水) 第2期 2018年12月5日(水)～12月6日(木)			
受講対象者	管理者・新任管理者層 ・改善活動のリーダーの方 ・現場改善の進め方で悩んでいる方 ・IE手法の実際の使い方を学びたい方	定員	25名	受講料 35,000円

月日	時間	科目	内容	講師
10月30日(火)	9時20分～9時40分	オリエンテーション		当校職員
	9時40分～12時40分	現場改善の考え方と進め方 —IE手法の基礎と実践—	生産現場における改善活用の重要性を再確認します。併せて、生産管理や改善手法の全体像を押し、改善の推進役となる管理者の使命を考えます。	顯谷 敏也 株式会社アティック フェイス 代表取締役
	13時40分～16時40分		・「改善」の意義と目的 ・IEの考え方と進め方 ・IE手法の活用方法(演習)	
10月31日(水)	9時20分～12時20分	IE手法の実践活用①(ケース演習) —現状把握と課題抽出—	IE手法を実際に活用した測定・分析・改善策検討の流れを、ケース演習を通じて学びます。	
	13時20分～16時20分		・現場でのムダの捉え方 ・現状把握と問題発見 ・改善活動のテーマと実施計画づくり	
インターバル課題「IE手法の実践(測定・分析)による自社の課題抽出」 学んだIE手法を活かして、自社の生産現場の現状把握に取り組みます。				
12月5日(水)	9時20分～12時20分	IE手法の実践活用②(自社演習) —測定・分析結果の確認—	インターバルで取り組んだ課題を持ち寄り、振り返りを行います。受講者同士で測定・分析の結果を確認し、相互アドバイスを行います。 ・自社の現状把握の結果確認 ・相互アドバイスとフィードバック	顯谷 敏也(前掲)
	13時20分～16時20分	現場で活かすIE手法 —IE手法実践のポイント—	IE手法を現場で実践する際の工夫や、改善策の検討・立案の視点を再確認します。 ・IE手法実践のポイント ・改善策検討の視点	
12月6日(木)	9時20分～12時20分	IE手法の実践活用③(自社演習) —改善策の検討と展開—	現状把握した自社現場を基に、受講者間で相互にアドバイスをしながら、改善策立案に取り組めます。また小集団活動を組織全体へと発展させるための工夫を他社事例から学びます。 ・改善策の検討と立案 ・改善活動を定着化させる工夫 ・自身が果たすべき役割	
	13時20分～16時20分			
	16時20分～16時30分	修了証書の授与		

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。※ 研修初日の16時50分頃から交流会を開催する予定です。

講師氏名	略歴
顯谷 敏也 (あらかや としや) 株式会社アティック フェイス 代表取締役	関西大学大学院工学研究科を修了後、1986年シャープ(株)に入社。情報システムの構築、大型液晶テレビ工場の立ち上げ、サプライチェーン設計、工場の生産改善指導、人材育成等に従事。2012年に独立し、生産性改善オフィスAttic faith(現(株)アティックフェイス)を設立。製造業を中心に生産性改善、業務プロセス再構築などの支援に取り組んでいる。中小企業診断士、IE士(生産工学)、経営学修士(MBA)等。

30年度コース別受講申込書

FAX 042-590-2685

★この申込書は当校で受領後、受講者情報右欄の受付状況を記載して、折り返しFAXします。必ずご確認ください。

中小企業大学校 東京校長 あて

年 月 日

フリガナ			代表者役職		
会社名			代表者氏名		
所在地	〒 都 道 府 県				
TEL			FAX		
主要取扱品目			資本金	万円	従業員数 人
業種 <small>該当区分に○印をつけてください</small>	E.製造業 I-1.卸売業 I-2.小売業 R.サービス業 D.建設業 G.情報通信業 H.運輸業 M.旅館業 Z.その他 ()	業種分類 <small>製造業の方は該当区分に○印をつけてください</small>	9.食品 10.飲料 11.繊維 12.木材 13.家具 14.紙 15.印刷 16.化学 17.石油 18.プラスチック 19.ゴム 20.皮革製品 21.窯業 22.鉄鋼 23.非鉄金属 24.金属製品 25.はん用機械 27.業務用機械 28.電子部品 29.電気機械 30.情報通信機械 31.輸送用機械 32.その他製造業		
研修を知ったきっかけ	1.ダイレクトメール 2.研修ガイド 3.ホームページ 4.受講者の紹介 5.商工団体等 6.金融機関 7.新聞・雑誌・テレビ・ラジオ 9.区市等の機関紙 10.展示会等 11.その他()			メールマガジンの送信可否	可 ・ 不可
				人材育成計画作成への関心	ある ・ ない
連絡担当者	フリガナ		部署		
	氏名		役職	担当者 E-mail	

コースNo.	No. 41	コース名	IE手法を活用した生産性向上
--------	---------------	------	-----------------------

受講者情報①	フリガナ		年齢		性別		部署		受付状況①	受講できます <small>「受講決定通知兼振込依頼書」を開講の約1ヶ月前に事務連絡担当者様へ発送します。</small> キャンセル待ち _____ 番です <small>キャンセルが発生次第、ご連絡します。</small>		
	氏名			男	女	役職						
	受講者 E-mail		該当区分に○印をつけてください		1.代表者 2.役員 3.管理者 4.管理者候補							
	【入寮申し込み】必ず受講者本人にご確認をお願いします。概要する項目に○印をつけてください。											
	入寮の有無	→	入寮日	退寮日								
入寮する	入寮しない	入寮する場合	研修開始日の前日	研修開始日	~	研修終了日	研修終了日の翌日					

受講者情報②	フリガナ		年齢		性別		部署		受付状況①	受講できます <small>「受講決定通知兼振込依頼書」を開講の約1ヶ月前に事務連絡担当者様へ発送します。</small> キャンセル待ち _____ 番です <small>キャンセルが発生次第、ご連絡します。</small>		
	氏名			男	女	役職						
	受講者 E-mail		該当区分に○印をつけてください		1.代表者 2.役員 3.管理者 4.管理者候補							
	【入寮申し込み】必ず受講者本人にご確認をお願いします。概要する項目に○印をつけてください。											
	入寮の有無	→	入寮日	退寮日								
入寮する	入寮しない	入寮する場合	研修開始日の前日	研修開始日	~	研修終了日	研修終了日の翌日					

- 1) 入寮希望の有無・入寮日は、受講者本人に確認をお願いします。なお、入寮時の部屋割りご希望に添えない場合があります。
- 2) より多くの方が受講できるように、原則として1コースあたり1社2名様までのお申し込みといたします(一部コースを除く)。2名様をこえる場合はキャンセル待ちとなります。ご理解くださいますようお願い申し上げます。
- 3) 「経営後継者研修」「経営管理者研修」の申込書は、別様式です。専用パンフレットをご請求ください。

個人情報保護について	個人情報保護法に定義される個人情報に該当する情報については、中小機構内で実施する事業で使用します。当該個人情報の第三者(業務委託先を除く)への提供または開示はしません。ただし、お客様の同意がある場合および、法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものとします。
------------	---

大学校使用欄
